

野菜の生産・流通動向の概要

平成31年2月5日(火)

独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部

指定野菜の出荷量の推移

- 指定野菜の出荷量は、ばれいしょが一番多く、次いでキャベツ、たまねぎと続いている。
- 直近10年間の推移は、全体的に減少傾向であるものの、キャベツ、レタスは増加。ばれいしょ、だいこん、なす、ほうれんそうの減少率が大きくなっている。

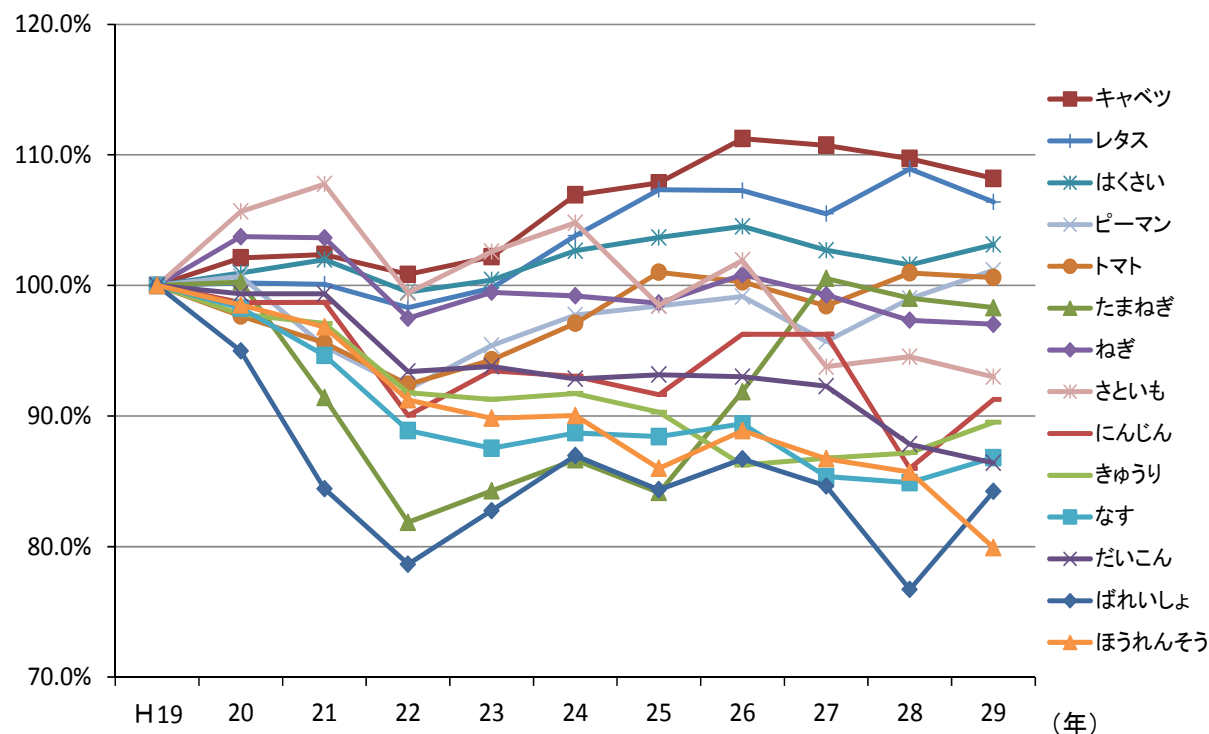
指定野菜の出荷量の推移

(千トン)

	H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	29/19
ばれいしょ	2,370	2,251	2,001	1,864	1,961	2,061	1,999	2,055	2,006	1,818	1,996	84%
キャベツ	1,183	1,208	1,211	1,193	1,209	1,265	1,276	1,316	1,310	1,298	1,280	108%
たまねぎ	1,118	1,121	1,022	915	942	969	941	1,027	1,124	1,107	1,099	98%
だいこん	1,258	1,250	1,250	1,175	1,180	1,168	1,172	1,170	1,161	1,105	1,087	86%
はくさい	705	711	719	701	708	723	731	737	724	716	727	103%
トマト	664	648	635	614	626	645	671	666	653	670	668	101%
レタス	510	511	510	501	509	529	547	547	538	555	542	106%
にんじん	585	577	577	527	547	544	536	563	563	503	534	91%
きゅうり	540	528	524	495	493	495	487	466	468	471	483	90%
ねぎ	386	400	400	376	384	383	381	389	383	376	374	97%
なす	278	273	263	247	243	247	246	249	237	236	241	87%
ほうれんそう	242	238	234	221	217	218	208	215	210	207	193	80%
ピーマン	128	129	122	118	122	125	126	127	123	127	130	101%
さといも	104	110	112	104	107	109	103	106	98	99	97	93%
計	10,070	9,957	9,581	9,051	9,247	9,481	9,423	9,632	9,598	9,287	9,452	94%

資料:農林水産省「野菜生産出荷統計」

指定野菜の出荷量の増減率の推移



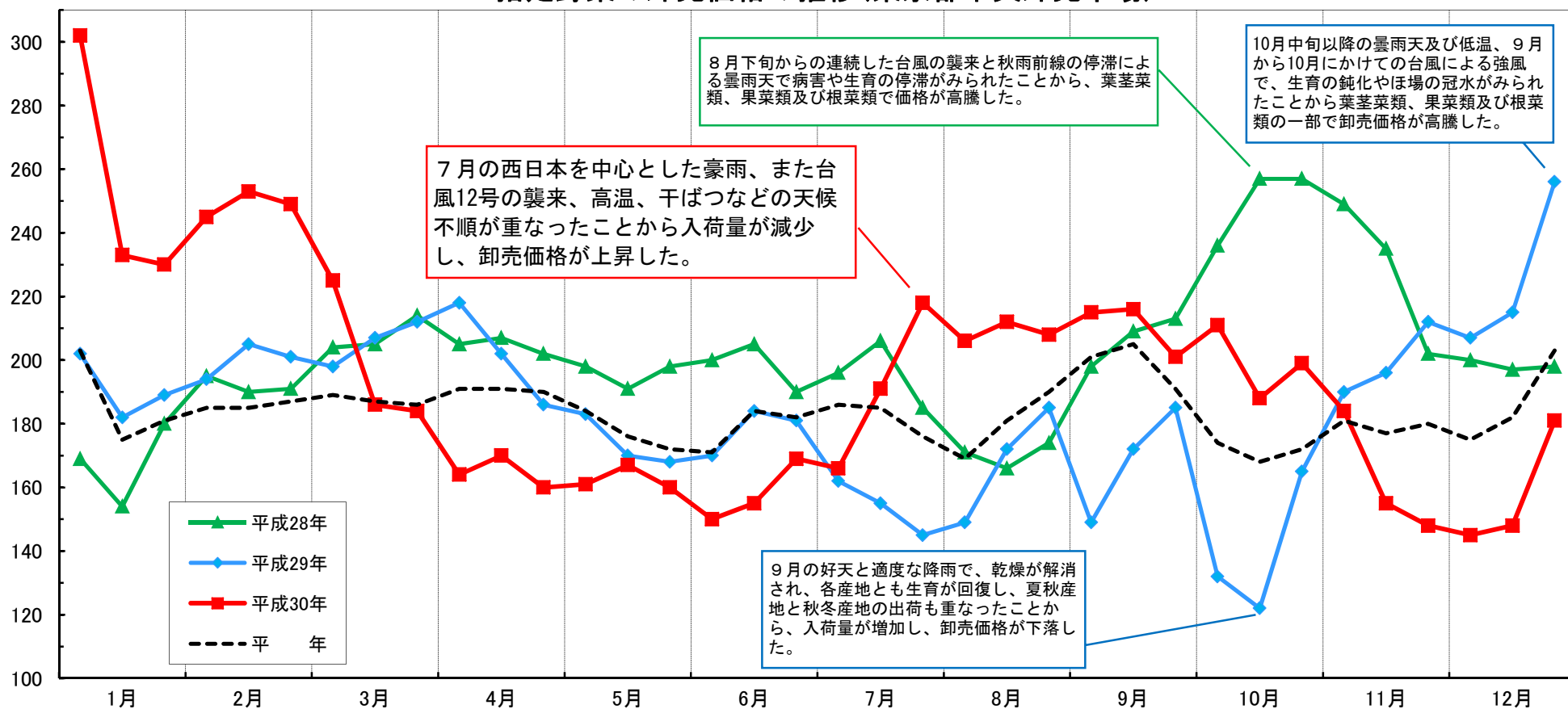
資料:農林水産省「野菜生産出荷統計」

野菜の卸売価格動向

- 平成30年は、年明けの低温と降雪の影響から全般的に生育が遅れ、3月上旬までは、平年を上回って推移。
- 3月は気温の上昇と適度な降雨にも恵まれたことから、各産地とも生育が回復し、平年並みに推移。4月以降は、夏日になる日があるなど、温暖な気候が続いたことから、入荷量が増加し、これに伴い、平年を下回って推移。
- 7月は、西日本を中心とした豪雨や台風12号の襲来、高温干ばつによる天候不順があり、8月以降は、北日本の降雨、低温やたび重なる台風の影響により、入荷量が減少したことから、平年を上回って推移。
- 11月は気温が高く、日照時間も長かったことから、天候不順で遅れていた生育も回復し、平年を下回って推移。

(円/kg)

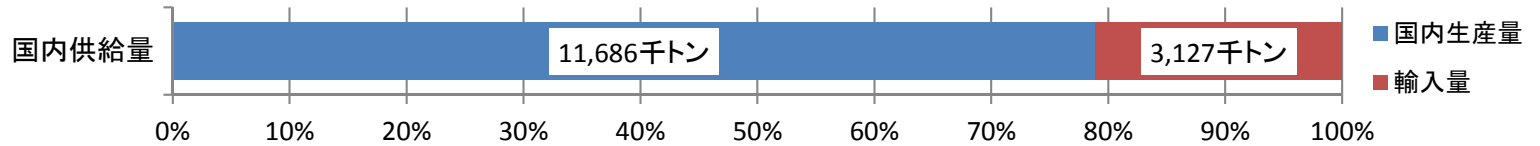
指定野菜の卸売価格の推移(東京都中央卸売市場)



野菜の供給量及び輸出入量の推移

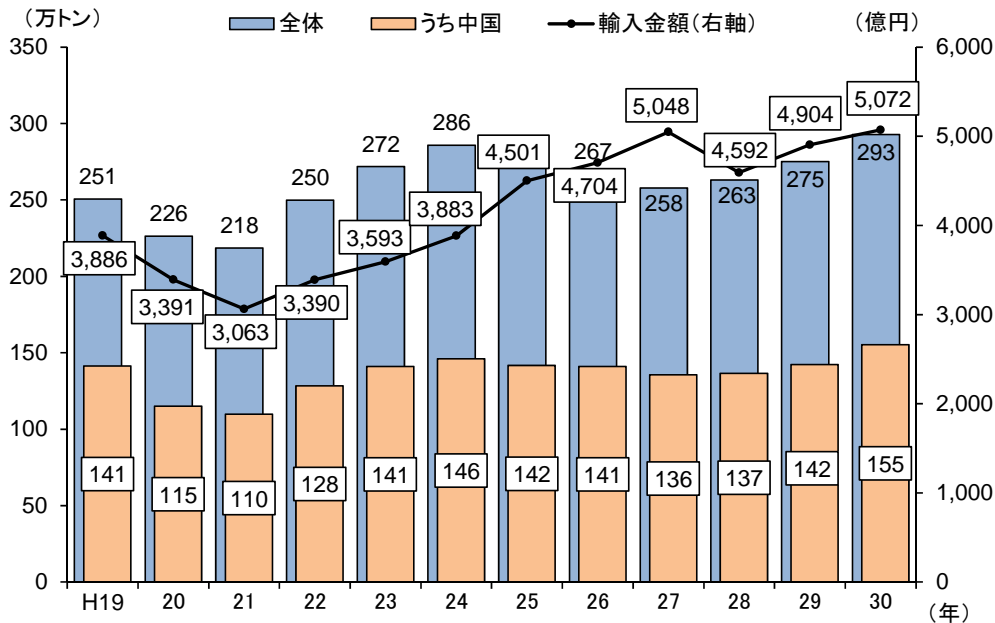
- 日本国内の野菜供給量は、国内産が約8割を占めている。
- 野菜の輸入は、生鮮・加工品を合わせて近年260万～280万トン程度（うち中国からの輸入は5割程度）で推移。
- 平成27年は、北海道産たまねぎの作柄が良かったこと等から、3年連続で輸入量が減少したものの、平成28、29年は、台風被害とその後の長雨等の影響で不作となったことから、輸入量が増加。
- 北海道産たまねぎの作柄が良かったことから、平成25年以降、台湾及び韓国への輸出が増加したこともあり、4年連続で輸出量が増加。

○ 国内供給量(平成29年度)



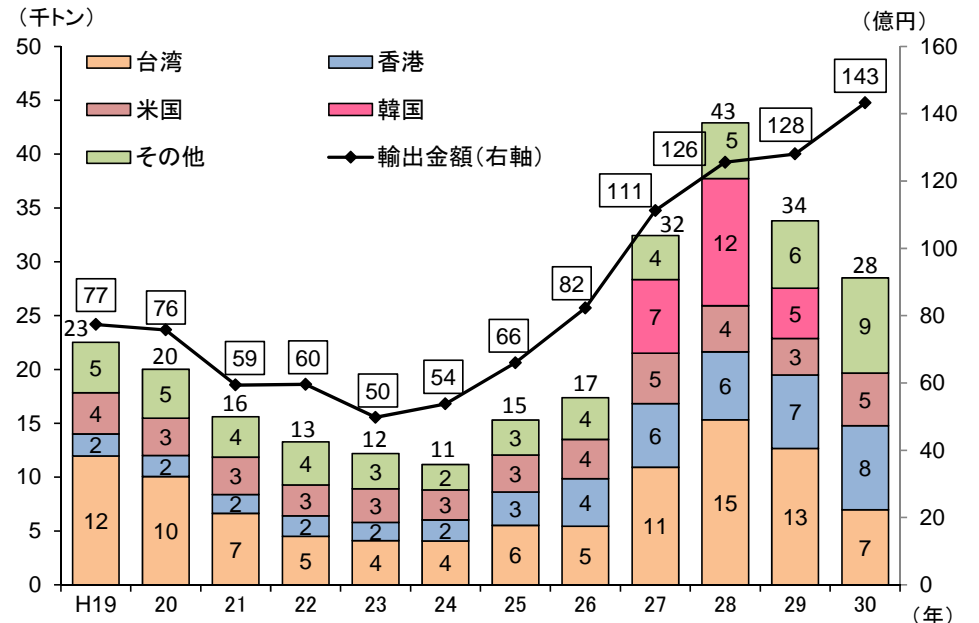
資料:「食料需給表」

○ 野菜の輸入量の推移(加工品を含む)



資料:財務省「貿易統計」

○ 野菜の輸出量の推移(加工品を含む)



資料:財務省「貿易統計」

(参考)野菜の輸入状況(平成30年)

- 野菜の輸入を国別に見ると、中国からは生鮮たまねぎをはじめ、さまざまな野菜が輸入されている。
- 米国からの輸入は、冷凍ばれいしょが中心である。
- トマト加工品はイタリア、中国、ポルトガル、トルコ等から輸入されている。

中国		(冷凍野菜)		(塩蔵等野菜)	
(生鮮野菜)		ほうれんそう	48	きゅうり及びびがーん	15
たまねぎ	272	さといも	32	(トマト加工品)	23
にんじん	96	ブロッコリー	28	(酢調製野菜)	
結球キャベツ	74	えだまめ	21	しょうが	17
ねぎ	67	ばれいしょ	16	(その他調整野菜)	
ごぼう	48	いんげん豆等	14	たけのこ	70
にんにく	20	混合野菜	14	しょうが	21
しょうが	19	いちご	13	きのこ	13
はくさい	13				

(単位:千トン)

米国		(冷凍野菜)	
(生鮮野菜)		ばれいしょ	270
ばれいしょ	28	スイートコーン	35
ブロッコリー	15	(トマト加工品)	47
		(その他調製野菜)	
		にんじんジュース	25
		スイートコーン	20

オランダ	
冷凍ばれいしょ	34

ベルギー	
冷凍ばれいしょ	31

韓国	
生鮮ジャンボピーマン	31

カナダ	
冷凍ばれいしょ	21

トルコ	
トマト加工品	12

エクアドル	
冷凍ブロッコリー	27

イタリア	
トマト加工品	100

台湾	
(生鮮野菜)	
結球レタス	12
(冷凍野菜)	
えだまめ	31

メキシコ	
(生鮮野菜)	
かぼちゃ	43
メロン	18

スペイン	
トマト加工品	23

タイ	
(冷凍野菜)	
えだまめ	20
(塩蔵等野菜)	
しょうが	12
(その他調製野菜)	
スイートコーン	42

ポルトガル	
トマト加工品	29

ニュージーランド	
(生鮮野菜)	
かぼちゃ	54

資料:財務省「貿易統計」
注:輸入実績が1万トン以上のものを掲載